



2016 人・ゆめ・ロマン 狭山池築造1400年

生涯住み続けたいまち大阪狭山市をめざして

大阪狭山市人口ビジョン・ 大阪狭山市総合戦略

【概要版】

OSAKA SAYAMA
大阪狭山市

大阪狭山市人口ビジョン



大阪狭山市人口ビジョンは、本市の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と、人口の将来展望を示します。また、大阪狭山市総合戦略の施策を立案する基礎となります。

人口等の現状

(1)人口等推移

- 平成22年(2010年)の58,227人をピークに減少し、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)推計では平成52年(2040年)には48,741人まで減少します。
- 老年人口(65歳以上)は増加を続け、平成52年(2040年)には、約39%を占め、1人の老年人口を生産年齢人口(15～64歳)約1.32人で支えることとなります。

(2)人口動態

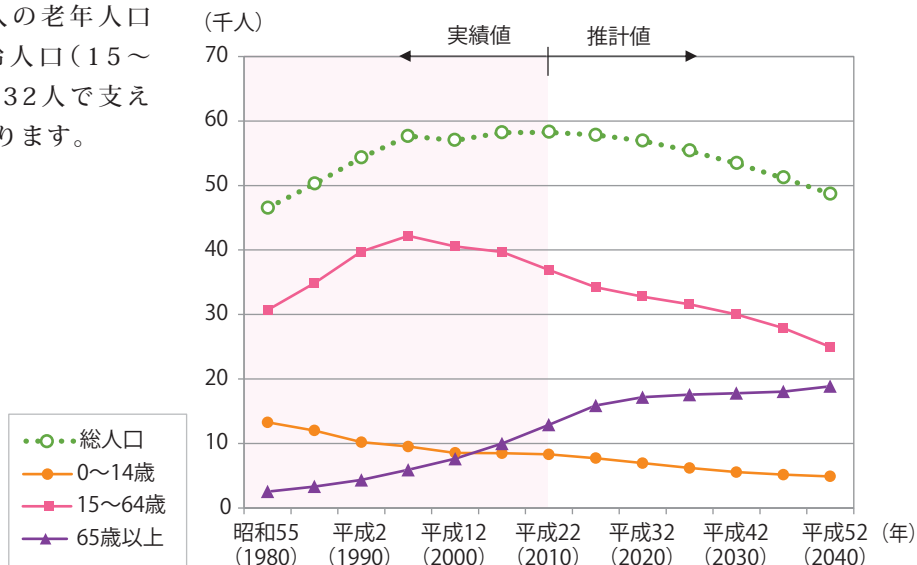
- 合計特殊出生率は、平成20年(2008年)～24年(2012年)に1.28で、大阪府や全国と比較してやや低くなっています。
- 自然増減では、出生数は減少し、死亡数は増加しており、自然減が人口減少を進める可能性があります。

- 社会増減は、転出、転入ともに減少しており、近年は転出超過となる年が多くなっています。

- 20歳代前半の若い世代と子育て世代の転入が減少する傾向にあります。

(3)産業の状況

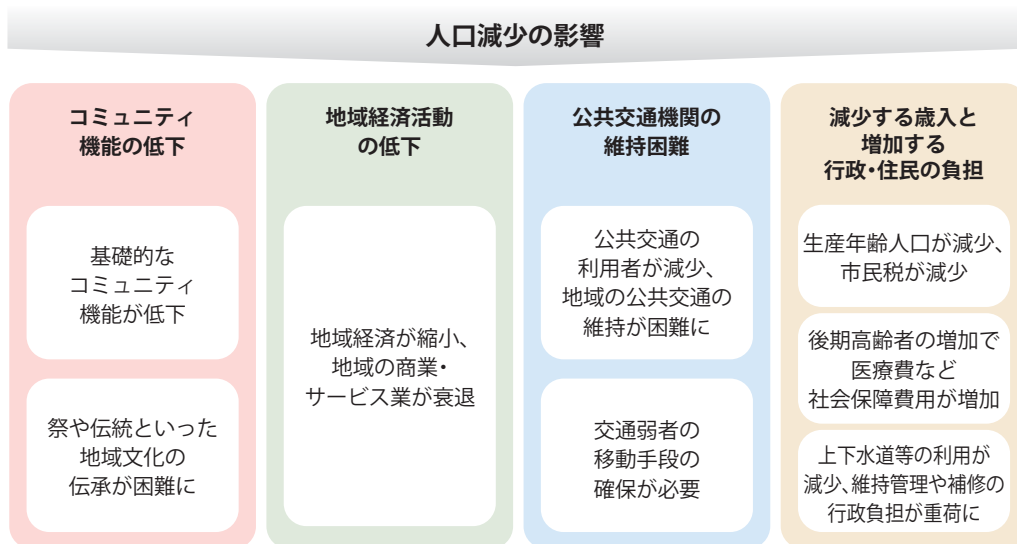
- 市内の事業所数、従業者数は近年減少傾向です。



資料：平成22年(2010年)までは国勢調査、平成27年(2015年)以降は社人研「日本の地域別将来推計人口(H25.3.27公表)」

人口減少の影響

人口減少がまねく人口構造の変化は、コミュニティ機能の低下による地域の賑わいの喪失、地域経済活動の低下、税収の減少と社会保障費などの扶助費等の増加が予想されます。また、次代の担い手となるべき年少人口(0～14歳)が少なくなっていくことで、今後この流れはさらに加速していくと予想されます。

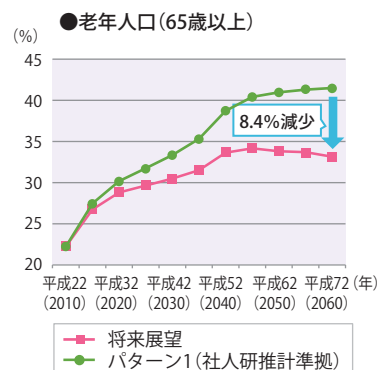
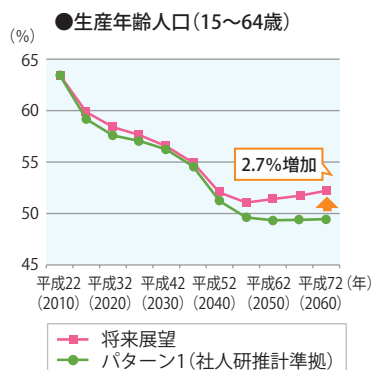
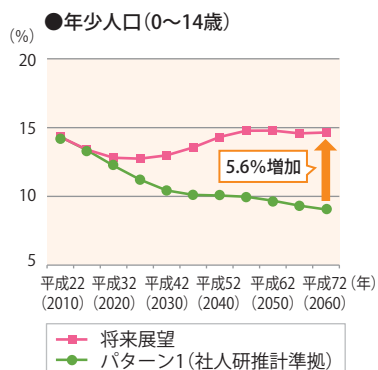
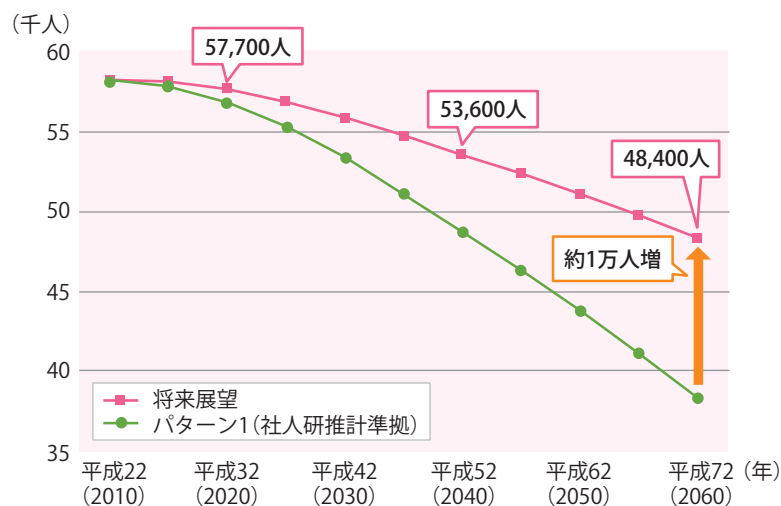


人口減少社会に対応する基本的視点

- 中長期的な視点に立って自然増をめざし、併せて「転出の抑制」と「転入の促進」を施策の方向性として、人口の維持と人口構造の転換を進めます。
- 出生数を増やすには若い世代の絶対数を増やす必要があり、進学、就職、結婚時に大阪狭山市にとどまってもらえるよう若い世代が住みたくなるまちをめざします。
- 1人の女性が生涯産む子どもの数を増やす必要があり、結婚から子育てまで、若い世代の希望を叶える環境を整えます。
- 子どもたちが「このまちに生まれてよかった、住んでよかった」と思うよう愛着と誇りの持てるまちづくりを進め、若い世代が定住する活力ある大阪狭山市にします。

人口の将来展望

短期 平成32年(2020年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口 57,700人 ● 転出入を均衡すること ● 合計特殊出生率の向上(1.54)
中期 平成52年(2040年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口 53,600人 ● 合計特殊出生率の向上(2.07)
長期 平成72年(2060年)	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口 48,400人 (社人研推計準拠に対し約10,000人増) ● 合計特殊出生率の維持(2.07) ● 生産年齢人口(15~64歳)の割合50%以上

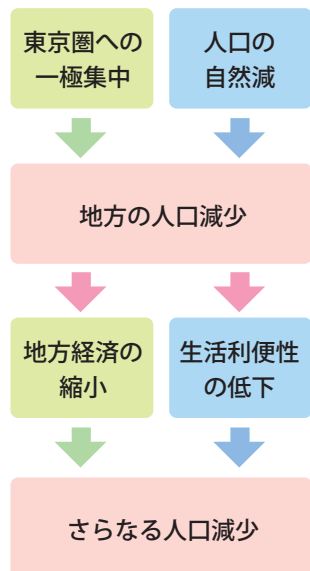


大阪狭山市総合戦略は、国の総合戦略や大阪狭山市人口ビジョンを踏まえて、人口減少の克服と地域の活性化を図るための施策をとりまとめたものです。

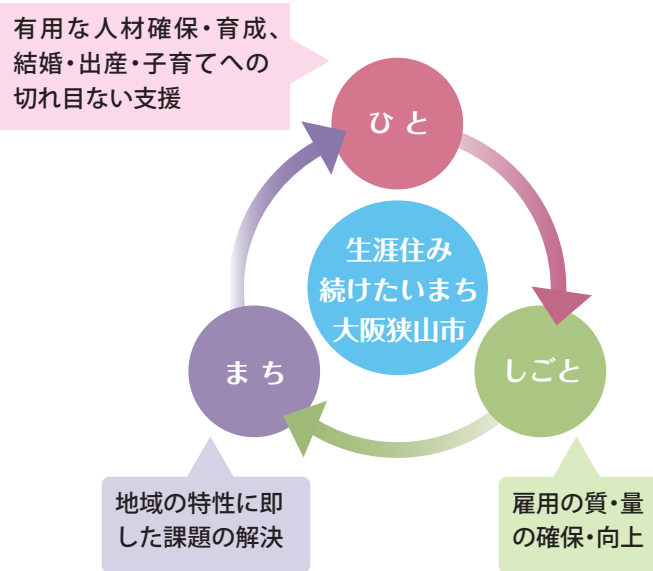
総合戦略の目的

人口減少の悪循環を断ち切り、「しごと」、「ひと」の好循環により、本市の魅力を高め、市民をはじめ多くの人々が「生涯住み続けたいまち」と思う環境を創出し、多くの人々に愛されるまちをめざします。

●人口減少の悪循環

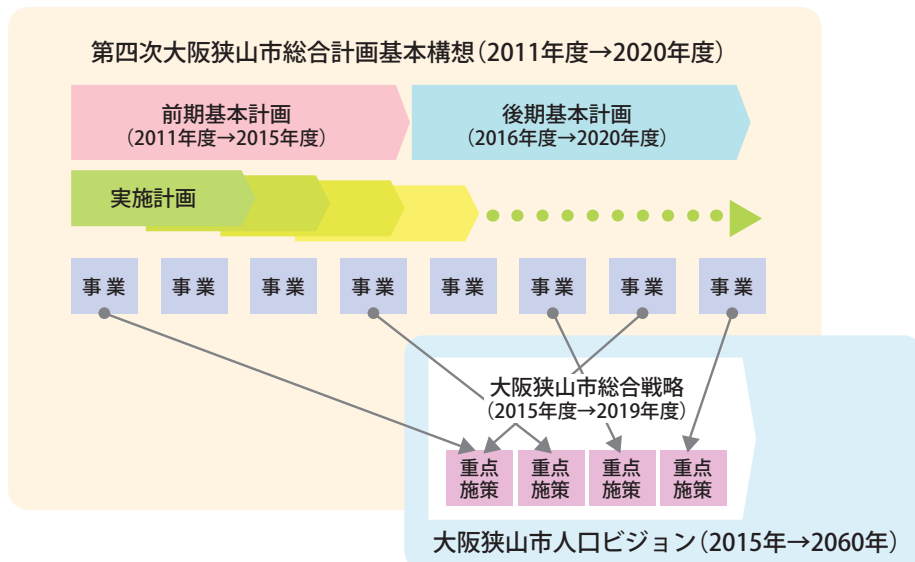


●「しごと」「ひと」の好循環とまちの魅力向上



総合戦略の位置づけ

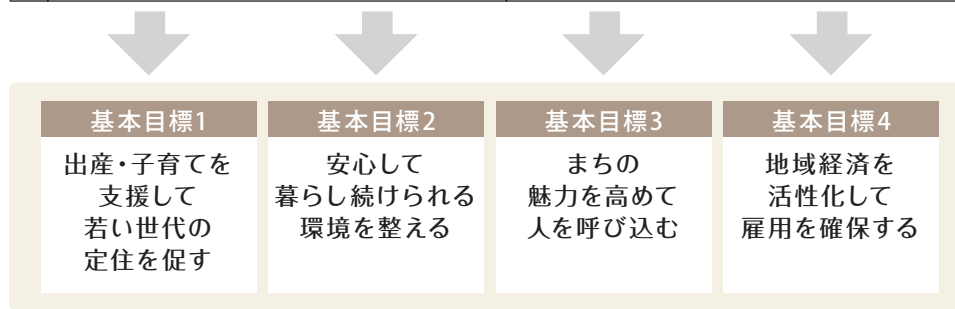
大阪狭山市総合戦略(以下「総合戦略」という。)は、第四次大阪狭山市総合計画に掲げた本市の将来像「水きらめき 人が輝く 共生のまち 大阪狭山」の実現に向けて定められた6つの施策の大綱に則り、各種の個別計画との整合を図りながら、分野横断的に取り組む個別計画のひとつとして位置づけ、長期的な課題である人口減少問題の克服を見据え、地方創生を成し遂げていくための施策をまとめたものです。



総合戦略の基本目標

総合戦略を推進するための基本目標の設定については、市民意識及び外部からの視点による課題抽出の結果を踏まえ、4つの目標を掲げます。

	市民意識	外部の視点
攻めること	<ul style="list-style-type: none"> ●市民生活の安全・安心を向上し、定住環境を充実させる ●子育て・教育環境の充実と子育て世代の定住及び出生率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代の転入促進と定住人口の増加 ●自然環境の維持と安全・安心の向上を図るまちづくりの推進
改善すること	<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致、起業・創業の促進による地元雇用の確保 ●地域資源を活かした観光の振興と交流人口の増加 ●道路などの交通環境の改善による定住人口の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致、起業・創業の促進による地元雇用の確保 ●シティプロモーションによる大阪狭山市サポーターの増加 ●利便性と定住環境の向上

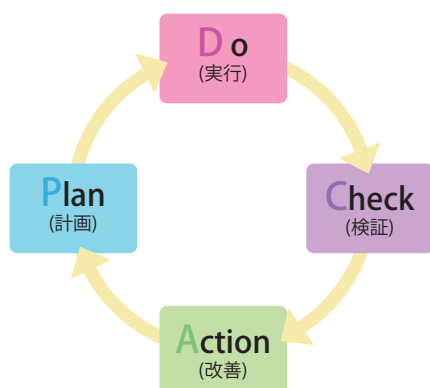


総合戦略の推進

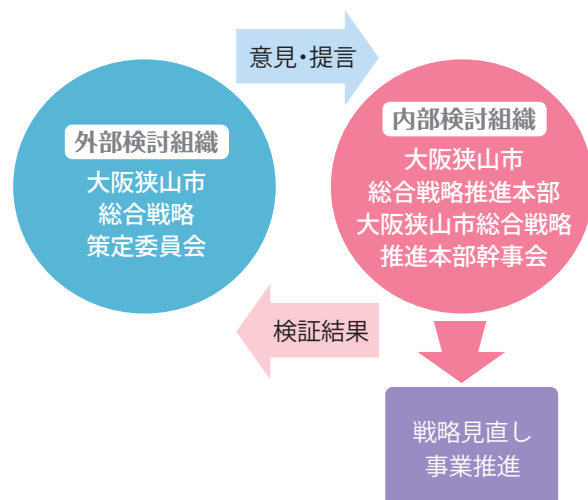
副市長を本部長とする各部の長などで構成する庁内検討組織によって、重要業績評価指標(KPI)を用いた総合戦略の達成度を検証し、市民をはじめ、産業界、教育機関など外部有識者で構成する外部検討組織から意見聴取を行い、必要に応じて事業内容を見直し、財政状況を踏まえつつ目標達成に向けて総合戦略を推進します。

また、総合戦略の成果、取組状況について、積極的に情報公開を行います。

●推進の仕組み



●推進の体制



生涯住み続けたいまち

基本目標1 出産・子育てを支援して若い世代の定住を促す

基本目標

【基本方向】

若い世代が就労しながら、希望どおり安心して出産・子育てができるまちをめざし、少子化に歯止めをかける。また、子育て・教育のまちのブランド力を磨き、子育て世代が定住するまちをめざす

【数値目標】

- 子育てにやさしい環境づくりの満足度
- 0-4歳人口

【重点取組】

- ①出産・子育ての支援
- ②教育環境の充実

主な事業

出産・子育ての支援

- 多様なニーズに対応した保育サービスの提供
- 育児パッケージプレゼントの実施
- 子育て支援のための拠点施設の整備
- 相談事業(妊娠・出産)の実施



教育環境の充実

- エアコン設置等学習環境の整備
- ICT機器を活用した学習や英語教育の充実
- 放課後児童会事業の充実
- 安全・安心な学校給食の提供
- 地域人材の活用(学校教育)
- 地域に開かれた学校園づくり
- 家庭学習の支援

基本目標2 安心して暮らし続けられる環境を整える

基本目標

【基本方向】

地域力や市民力を活かし、今後の人口減少や高齢化の進展に伴う地域の変化によって生じる課題の解決に取り組むとともに、市民ニーズの変化に対応した都市機能の維持と向上を図り、誰もが安全で安心して豊かに暮らすことができるまちをめざす

【数値目標】

- 健康寿命
- 市民の定住意向

【重点取組】

- ①地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり
- ②誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり
- ③誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり

主な事業

地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり

- 自主防災組織活動への支援
- 自治会等への加入促進
- ボランティアを担う人材の発掘・育成



誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり

- 健康づくり応援団活動への支援
- 生涯スポーツに親しめる環境整備
- いきいき百歳体操の普及
- 在宅医療介護におけるICT連携の充実
- 難病患者等の交流・相談支援

誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり

- 公共インフラ施設の点検及び長寿命化の推進
- 民間企業を活用した空き家の利活用相談の実施
- 良好な住宅開発の誘導
- 南河内地域の市町村における広域連携体制の強化・充実

大阪狭山市総合戦略に掲げる基本目標に基づき、地方創生を実現するための施策を推進します。

大 阪 狭 山 市 を め ざ し て

基本目標3 まちの魅力を高めて人を呼び込む

基本目標

【基本方向】

観光資源の効果的な活用や歴史・文化芸術環境の醸成など、本市の都市魅力を強化するとともに、良好な住環境などについて、積極的な情報発信を行うことにより、交流人口の増加及び本市への転入・定住の促進を図る

【数値目標】

- 転入者・転出者の均衡
- 市民の定住意向

【重点取組】

- ① 地域資源を活かしたまちの魅力強化
- ② 地域の活力を活かした安心して転入できる環境の整備

主な事業

地域資源を活かしたまちの魅力強化

- 歴史的観光資源「狭山池」を中心とした魅力情報の発信
- 狭山池築造1400年記念事業等の推進
- まちづくり寄附金（ふるさと納税）制度の充実



地域の活力を活かした安心して転入できる環境の整備

- 転入者に対する定住促進
- シティセールス活動、広報活動の充実・強化



基本目標4 地域経済を活性化して雇用を確保する

基本目標

【基本方向】

地域経済に活力をもたらす企業・事業の育成及び企業の誘致を行い、地域産業の競争力強化に取り組むとともに、新たなビジネスの創出を促進し、雇用の確保に努める

【数値目標】

- 小売業事業所数
- 小売業従業員数

【重点取組】

- ① 市内への企業移転・進出による地域産業の活性化
- ② 若者や女性などへの就労支援
- ③ 地域産業の魅力向上

主な事業

市内への企業移転・進出による地域産業の活性化

- 再生可能エネルギーの利活用
- 新たな企業の誘致



若者や女性などへの就労支援

- 雇用・起業促進のための人材育成



地域産業の魅力向上

- 地域特産物の応援団の育成



大阪狭山市の強み

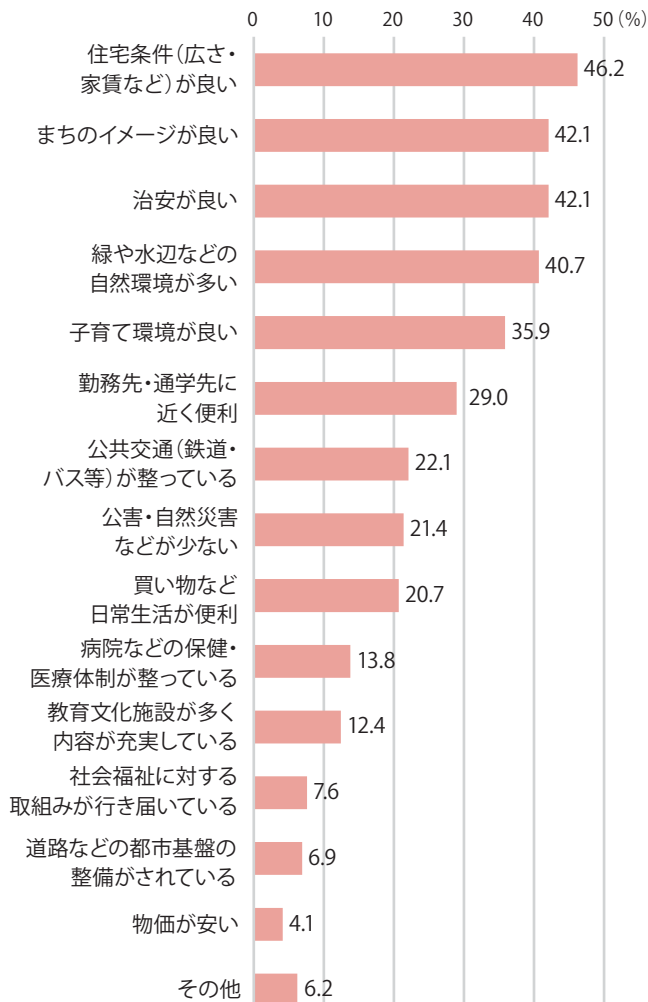
(転入者アンケート(H27)より)

大阪狭山市の強みを総合戦略に活かすため、転入された市民の方に大阪狭山市を選んだ理由をお聞きしました。

転入者の大阪狭山市の評価

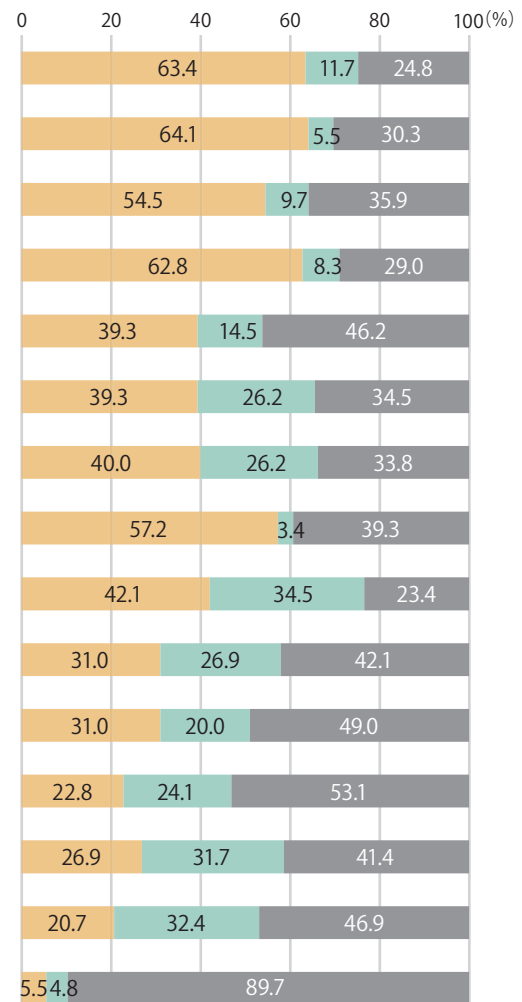
- 大阪狭山市を選んだ理由は、「住宅条件が良い」が約46%を占め最も多く、「まちのイメージが良い」、「治安が良い」、「緑や水辺などの自然環境が多い」が40～42%で次いでいます。
- 「大阪狭山市を選んだ理由」と「実際に暮らして感じたこと」を比較すると、「住宅条件が良い」、「まちのイメージが良い」、「治安が良い」、「緑や水辺などの自然環境が多い」、「子育て環境が良い」はいずれも高い評価となっています。「公害・自然災害などが少ない」は「選んだ理由」ではそれほど評価は高くありませんが、「暮らして感じたこと」では評価が高くなっています。

●大阪狭山市を選んだ理由



回答者数 145

●実際に暮らして感じたこと



回答者数 145

編集・発行

大阪狭山市政策調整室企画グループ

〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山一丁目2384-1 TEL (072) 366-0011 (代)

URL: <http://www.city.osakasayama.osaka.jp/> E-mail: kikaku@city.osakasayama.osaka.jp